

雹(ひょう)が降ったよ

12月5日(月)

「バリバリッ、ドーンッ。」本日午後、雷鳴が轟く中、豪雨となった。

「バキバキバキバキッ」と雷の音でも雨の音でもない別の音が。

理科室前のトタン屋根を突き破る勢いで空から氷の塊が。皆は一様に空を見上げた。

「雹だ。」

南アでは時折大きな雹が降るそうです。地方ではゴルフボール大の雹が降り注ぎ、多くの家畜が亡くなってしまいうことも。幸いJSJでは何の被害もなく一安心でしたが、初めて大きな雹を見た子供たちと、一部の教師(松〇先生)も大興奮。南アならではの出来事でした。



雹

雹とは、積乱雲から降る直径 5mm 以上の氷粒。直径 5mm 未満の氷粒は霰^{あられ}と呼ぶ。雹が降ることを降雹^{こうひょう}、降雹による人体や農作物、建物への被害を雹害と表現する。

[ウィキペディアより](#)

